

## 平成 29 年度 日韓文化交流基金 事業実績

### 一般会計

#### 1. 自主事業

(1) 第 33 回日韓文化交流基金韓国訪問団  
(日程)

平成 29 年 9 月 18 日(月)	ソウル到着 趙顯(チョ・ヒョン)外交部第 2 次官表敬 長嶺安政駐韓国大使表敬 李洪九(イ・ホング)韓日文化交流基金会長主催歓迎晩餐会
9 月 19 日(火)	ソウルジャパンプラブ役員との朝食懇談会 国際教育院 宋基東(ソン・ギドン)院長表敬 第 18 回日韓文化交流基金賞贈呈式 鮫島団長主催レセプション
9 月 20 日(水)	達城韓日友好館訪問(大邱市達城郡及び沙也可関係者との懇談) 大邱・慶尚北道地域訪日フェローOB との夕食懇談会
9 月 21 日(木)	釜山近代歴史館見学 釜山韓日文化交流協会、釜山地域日韓交流関係者との昼食懇談会 帰国

(2) 第 18 回日韓文化交流基金賞

文化及び芸術分野の交流を通じて日韓間の友好親善に寄与した韓国人を表彰するもの。29 年度の受賞者は下記の 2 名及び 1 団体。

沈揆先(シム・ギュソン) 東亜日報社顧問

東亜日報論説委員時代、日韓関係に関して、日本の立場を十分に理解しつつ、互いが相手の立場を尊重することによる問題解決を訴える多くのコラムを執筆。多数の日韓関連団体への参加を通じ、両国関係発展のために貢献。

金惠英(キム・ヘヨン)KBS ラジオ国際放送日本語放送プロデューサー兼アナウンサー

KBS の国際放送で 30 年にわたって日本語放送を担当。日本に対するバランスのとれた理解と認識をもとに番組制作にあたる。2002 年から担当している『金曜座談会』は、日韓両国のジャーナリストが視点の違いを通じて、真の理解を目指す場として高く評価されている。

釜山国際写真交流協会

1998 年長崎県対馬支庁主催の日韓交流写真展参加をきっかけに、釜山と対馬で交互に写真展を開催。写真展にあわせて交流団の相互訪問も実施し、写真を通じた日韓間の理解にも貢献。

## 2. 賛助会員制度

(1) 加入（会費：一口1万円）の状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

種別(年会費)	人数/法人数	口数	金額
特別会員(3口以上)	5名 1団体	20口	200,000円
個人会員(1口以上)	65名	67口	670,000円
法人会員(5口以上)	2団体	15口	150,000円
計	70名 3団体	—	1,020,000円

[平成30年3月31日有効会員:カッコ内は口数]

特別会員（五十音順）

小野正昭(3)      金春美(3)      中江新(5)      檜崎正博(3)      渡辺浩(3)

広島県日韓親善協会(3)

計5名、1団体

個人会員（五十音順）

青野正明	朝海和夫	朝倉敏夫	浅野豊美	安倍誠
阿部孝哉	飯島涉	石川武敏	磯崎典世	稲葉真岐子
李炯喆	林在圭	内田富夫	梅田博之	大竹洋子
荻野綱男	小倉紀蔵	生越直樹	河村建夫	菅野修一
姜英淑	木畑洋一	木宮正史	小泉勇治郎	小林直人
小針進(2)	高麗文康	齋木崇人	坂井俊樹	阪田恭代
酒勾康裕	櫻井浩	佐藤俊行	鮫島章男(2)	澤岡泰子
柴公也	上保敏	白川豊	杉山長	高田加代子
田中正敬	都恩珍	中尾美知子	中塚明	中山隆夫
中山めぐみ	芳賀徹	社会福祉法人陽清学園	畠山悦美	波田野節子
墨の美術館	濱崎道子	浜之上幸	日本民芸館館長	深澤直人
福原裕二	藤田昭造	藤本幸夫	堀泰三	馬定延
前田二生	實生泰介	茂木敏夫	山口晃	尹明憲
余田幸夫	柳震太	和田とも美		

計65名

法人会員（五十音順）

学校法人城西大学(10)

和光物産株式会社(5)

計2団体

## (2) 会費収入の用途

### (i)【講演会】

日韓関係の専門家による講演会を開催。

- ・平成29年4月26日 参加者：45名

「日韓文化の違いと近似性—会議通訳の現場から」（講師：長友英子 日韓会議通訳）

- ・平成29年10月25日 参加者：45名

「北朝鮮人民の生活—脱北者の手記から読み解く実相」

（講師：伊藤亞人 東京大学名誉教授）

### (ii)【学術定期刊行物助成】

当基金学術定期刊行物助成事業の対象刊行物2点に対する助成金（400,000円）として活用した。

書名	申請団体
「韓国朝鮮の文化と社会 第16号」	韓国・朝鮮文化研究会
「現代韓国朝鮮研究 第17号」	現代韓国朝鮮学会

## 3. 外務省からの受託事業

### (1)【日韓歴史家会議】

行事名	開催日	会場
講演会「歴史家の誕生」	29/11/17	ソウル・東北亜歴史財団
第17回会議 「東アジアの平和思想とその実践—歴史的考察」 参加者：日本側 12名 韓国側 14名	29/11/18 ～11/19	ソウル・東北亜歴史財団

## 第1特別会計

### 1. 日韓知的交流事業

#### (1) 助成事業

##### (i) 草の根交流

合計 4 件

No.	事業名	申請団体	実施期間
1	日韓交流おまつり 2017 in ソウル 舞踊 集団 美尾屋 派遣事業	舞踊集団 美尾屋	29/9/22～9/25
2	日韓交流おまつり 2017 in ソウル Ajigul 派遣事業	Ajigul	29/9/23～9/25
3	第 2 回 音楽で手をつなごう日韓交流コ ンサート	音楽で手をつなごうプロジェ クト 日韓コンサート実行委 員会	29/9/24～9/28
4	日韓合同アジア支援—空飛ぶ車いす交 流の継承	神奈川工科大学車いす修 理屋(KWR)	30/1/4～1/7、 30/1/31～2/3

##### (ii) シンポジウム・国際会議

合計 4 件

No.	事業名	申請団体	実施期間
1	釜山-福岡の交流拡大に向けたシンポ ジウム	公益財団法人 九州経済調 査協会	29/5/31
2	第 33 回日韓学生フォーラム	日韓学生フォーラム	29/8/7～8/21
3	鳥根県発: 北東アジアの地方創生～日 韓が歩む道～(第 32 回日韓経済経営 国際学術会議鳥根県開催記念コンファ レンス)	東アジア経済経営学会	29/8/22～8/24
4	2017 東アジア国際シンポジウム	一般財団法人 東アジア総 合研究所	29/8/24

##### (iii) 芸術交流

合計 6 件

No.	事業名	申請団体	実施期間
1	昭和音楽大学・ソウル市立大学校 日韓 大学交流コンサート	学校法人東成学園 昭和音 楽大学	29/4/13～4/16、 29/9/10～9/13
2	日韓の名歌手によるザ・ガラコンサート 「海を越えて」—平昌&東京オリンピック 記念公演—	アイ・エー・ダブル	29/9/14～9/20
3	琉韓伝統舞踊ワークショップと現代舞踊 の共創 in 沖縄・ソウル	明治大学アジア太平洋パフ オーミング・アーツ研究所	29/11/17～11/20、 30/1/28～2/9、 30/2/22～2/23
4	「21 世紀の朝鮮通信使～日韓文化交 流・軌 2017.10」	NPO 法人 暮らしと耐震協 議会	29/10/6～10/8
5	oF-katsue kitasono-	オフカイ	29/12/1～12/3

6	神戸仁川芸術交流プロジェクト	C.A.P.(NPO 法人 芸術と計画会議)	30/2/3～2/25
---	----------------	------------------------	-------------

(2) 学術研究者交流

(i) 招聘

合計 5 名

No	氏名	期間	受入機関	研究テーマ
1	高恩美	29/4/1～30/2/28	立命館大学 コリア研究センター	社会派シネマの遺産－日韓ニューウェーブ映画のドキュメンタリー性を中心に
2	李鉉出	29/6/1～29/8/27	学習院大学法学部	地域間人口構造の変化の政治学：日韓比較研究
3	朴錫強	29/6/26～29/8/27	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 国際協力学専攻	日本の金融システムの安定性に関する研究－システムック・リスクに関わる分析手法を中心に－
4	朴正珉	29/7/1～30/2/28	九州大学大学院人文科学研究院	「海東諸国記」と「建州紀程図記」の同異点と 継承関係の研究
5	辛貞和	29/9/1～29/11/30	慶應義塾大学 東アジア研究所 現代韓国研究センター	日本の北朝鮮政策と政治力学関係－2000 年代以後を中心に

(ii) 派遣

合計 1 名

No	氏名	期間	受入機関	研究テーマ
1	井上直樹	29/10/1～29/12/1	漢城大学校人文大学 歴史文化学部	高句麗遺民の基礎的研究

(3) 日韓新時代支援プログラム

(i) テーマ別交流支援【団体対象】

合計 3 件

No.	事業名	申請団体	実施期間
1	NPO 法人 汎太平洋フォーラム：持続可能な少子高齢化社会提言プロジェクト	NPO 法人 汎太平洋フォーラム	29/12/1～3/12
2	高齢化社会における高齢者の生きがい創造セミナー	パラソルギャラリー実行委員会	29/12/8～12/10、29/12/13～12/18
3	日韓ユース・カンファレンス	公益財団法人 日本 YWCA	30/2/23～2/26

(ii) 学術活動支援【個人対象】

合計 4 名

招聘

No	氏名	期間	協力者所属機関	研究テーマ
1	崔慶嬉	29/12/19～30/3/16	東京国際大学国際	北朝鮮の核・ミサイル問題に対す

			戦略研究所	る日韓の共同対応
2	金暎根	30/1/10~30/3/4	関西大学社会安全学部社会安全研究科	日本の震災復興学と現場力:日韓協力のための新たなアジェンダ~安全共同体
3	李容圭	30/1/10~30/2/9	琉球大学工学部工学科建築学コース	少子高齢化社会に対応する沖縄と済州の公共住宅の計画論的な特徴

## 派遣

No	氏名	期間	協力者所属機関	研究テーマ
1	湯山篤	29/12/1~30/1/31	ソウル大学校社会科学大学院社会福祉学科	日本と韓国の貧困政策の発展過程研究:1960年代から現在までの歴史的検証

## 2. 情報広報事業

### (i) 広報誌

日韓文化交流基金NEWS 82、83、84、85号刊行(83号は朝鮮通信使特集を掲載)

### (ii) ウェブサイト

基金のウェブサイトを継続・運営し事業の広報・情報提供を行っている。合わせて「日韓文化交流カレンダー」を掲載し日本で開催される韓国・日韓文化交流関連のイベントの紹介を行っている。

年月	ユーザー数	ページ/ セッション*1	新規訪問の 割合(%)
平成 29 年 4 月	2088	3.23	51.38
5 月	2267	3.03	54.71
6 月	3886	3.03	57.65
7 月	2783	3.04	47.82
8 月	2152	3.29	58.64
9 月	2814	3.12	60.19
10 月	3053	3.16	57.52
11 月	3124	3.35	55.43
12 月	2210	3.33	46.24
平成 30 年 1 月	2187	3.50	51.57
2 月	1812	3.17	55.37
3 月	2312	3.39	56.89

\*1 ページ/セッション:セッション中に表示された平均ページ数。同じページが繰り返し表示された場合も集計される。セッションとは期間内の合計セッション数で、ユーザーがウェブサイトやアプリなどに積極的に関わっている期間を指す。すべての使用状況データ(スクリーンビュー、イベント、e コマースなど)はセッションと関係する。

### (iii) メールマガジン

基金事業の最新情報、「日韓文化交流カレンダー」のイベント紹介などを、ウェブ上等から登録した希望者と、賛助会員等を対象に、月2回ほどのペースで配信している。賛助会員以外のメールマガジン登録者数は1671名(平成30年3月23日現在)。

配信数

第 276 号(平成 29 年 4 月 7 日)	1690	第 289 号(平成 29 年 10 月 13 日)	1628
第 277 号(平成 29 年 4 月 21 日)	1695	第 290 号(平成 29 年 10 月 27 日)	1639
第 278 号(平成 29 年 5 月 12 日)	1700	第 291 号(平成 29 年 11 月 10 日)	1651
第 279 号(平成 29 年 5 月 26 日)	1704	第 292 号(平成 29 年 11 月 22 日)	1655
第 280 号(平成 29 年 6 月 9 日)	1706	第 293 号(平成 29 年 12 月 13 日)	1656
第 281 号(平成 29 年 6 月 23 日)	1726	第 294 号(平成 29 年 12 月 22 日)	1656
第 282 号(平成 29 年 7 月 7 日)	1728	第 295 号(平成 30 年 1 月 12 日)	1655
第 283 号(平成 29 年 7 月 20 日)	1736	第 296 号(平成 30 年 1 月 26 日)	1661
第 284 号(平成 29 年 8 月 4 日)	1739	第 297 号(平成 30 年 2 月 9 日)	1665
第 285 号(平成 29 年 8 月 17 日)	1738	第 298 号(平成 30 年 2 月 23 日)	1666
第 286 号(平成 29 年 9 月 1 日)	1739	第 299 号(平成 30 年 3 月 9 日)	1670
第 287 号(平成 29 年 9 月 15 日)	1741	第 300 号(平成 30 年 3 月 23 日)	1676
第 288 号(平成 29 年 9 月 28 日)	1747		

(iv) ツイッター

140 文字以内の「ツイート tweet」と称される短文を投稿できる情報サービスを利用し、基金ホームページや「日韓文化交流カレンダー」で更新した情報をツイッターで登録者に発信している。登録者数は 590 名(平成 30 年 4 月 11 日現在)。

## 第6特別会計(対日理解促進交流プログラム)

アジア大洋州等の青少年をはじめとする幅広く優秀な人材を招聘、派遣して、日本に対する理解促進を図り、また知日派を発掘して日本の魅力等を積極的に発信せしめる等、我が国の外交基盤を強化するための事業。

### 1. 青少年交流事業

(1) 基金主催事業(韓国側機関、在韓国日本公館との共同事業: 大学生・高校生交流)

(i) 【招聘】 合計 5 団体 174 名(団長・引率を含む)

No.	団体名	団体数	人数	期間
1	韓国大学生訪日団(日本外務省招へい)	1	30	29/9/20~9/29
2	韓国青年訪日団 6・7 団	2	72	30/1/16~1/25
3	韓国青年訪日団 10・11 団	2	72	30/2/20~3/1

(ii) 【派遣】 合計 2 団体 73 名(団長・引率を含む)

No.	団体名	団体数	人数	期間
1	日本大学生訪韓団(韓国外交部招へい)	1	30	29/9/20~9/29
2	日本大学生訪韓団 3 団	1	43	30/3/1~3/10

(2) 企画競争公募事業

「対日理解促進交流プログラム」の趣旨にそった事業を計画・立案、実施する団体を公募し、審査を経て実施団体を選定した。

(i) 【招聘】 合計 6 件 125 名(団長・引率を含む)

No.	事業名 (実施団体名)	人数	期間
1	環境資源を活かした先進的なまちづくりを学ぶ・日韓若者交流リーダー育成事業 (NPO 法人 グラウンドワーク三島)	16	29/8/2~8/7
2	韓国大学生招へい・交流プログラム「縁」 (公益財団法人大阪国際交流センター)	26	29/11 /3~11/12
3	韓国高校生・校長招へい事業 (一般社団法人 国際フレンドシップ協会)	21	29/11 /20~11/28
4	北海道・韓国 地域遺産発掘・発信交流事業 (公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター)	22	29/11 /22~12/1
5	水原市大学生訪日事業 (静岡市国際交流協会)	20	30/1/9~1/18
6	Visit & Feel JAPAN Tour in 2018 Winter (一般社団法人 日韓経済協会)	20	30/1 /30~2/4

(ii) 【派遣】 合計 4 件 95 名(団長・引率を含む)

No.	事業名 (実施団体名)	人数	期間
1	第24回日韓高校生交流キャンプ (一般社団法人 日韓経済協会)	44	29/7 /24~7/28
2	環境資源を活かした先進的なまちづくりを学ぶ・日韓若者交流リーダー育成事業 (NPO 法人 グラウンドワーク三島)	16	29/9/18~9/23



3	信州と韓国の高校生による文化交流事業 (長野県高等学校文化連盟国際交流部会)	24	29/12 /7~12/12
4	日韓大学生学術文化交流事業 (東京都市大学工学部医用工学科知覚システム工学研究室)	11	29/12 /12~12/20

(3) 日本紹介事業(交流促進事業/公募)

韓国で開催される文化紹介事業等に日本から参加し、各種の日本文化紹介を行う団体を公募し、審査を経て実施団体を選定した。

【派遣】 合計 4 件 109 名(団長・引率を含む)

No.	事業名 (実施団体名)	人数	期間
1	「日韓交流おまつり 2017 in SEOUL」参加 日本文理大学チアリーディング部 BRAVES	66	29/9/22~9/25
2	「日韓交流おまつり 2017 in SEOUL」参加 みちのく仙台 ORI☆姫隊	11	29/9 /22~9/25
3	「日韓交流おまつり 2017 in SEOUL」参加 太鼓ユニット我龍-garyu-	20	29/9/22~9/25
4	「金海 JAPAN WEEK」及び「順天 JAPAN WEEK」参加 にじゅうまる企画	12	29/11/6~11/10

## 第8特別会計(対日理解促進交流プログラム/補正予算)

第6特別会計の趣旨に加えて、特に日本の各種産業関連施設の視察、関係者との対談等に重点を置いた青少年招聘事業。

### 1. 青少年交流事業

(1) 基金主催事業(在韓国日本公館との共同事業:大学生交流)

【招聘】 合計 2 団体 73 名(団長・引率を含む)

No.	団体名	団体数	人数	期間
1	韓国青年沖繩経済産業視察団 (韓国青年訪日団 8 団・9 団))	2	73	30/1/23~2/1

(2) 企画競争公募事業

補正予算の趣旨にそつた事業を計画・立案、実施する団体を公募し、審査を経て実施団体を選定した。

【招聘】 合計 1 件 25 名(団長・引率を含む)

No.	事業名 (実施団体名)	人数	期間
1	未来につなぐ環境プロジェクト—福島再生可能エネルギー事業に学ぼう (NPO法人 ふくかんねつと)	25	29/9/19~9/28

## 第9特別会計(対日理解促進交流プログラム)

第6特別会計同様、日本に対する理解促進を図り、知日派を発掘し、日本の外交基盤を強化するための事業。

### 1.青少年交流事業

(1)基金主催事業(韓国側機関、在韓国日本公館との共同事業:大学生・教員、高校生等)

(i)【招聘】 合計 19 団体 550 名(団長・引率を含む)

No.	団体名	団体数	人数	期間
1	韓国教員訪日団 1~4 団	4	80	29/6 /6~6/15
2	韓国大学生訪日団 1~4 団	4	80	29/6/27~7/6
3	韓国青年訪日団 1・2 団	2	72	29/7/19~7/28
4	韓国青年訪日団 3・4 団	2	71	29/7/25~8/3
5	平昌冬季五輪ボランティア訪日団	1	21	29/8/1~8/10
6	韓国青年訪日団 5 団	1	16	29/9/21~9/27
7	韓国青少年訪日団 1・2 団	2	100	29/10/12~10/18
8	韓国青少年訪日団 3・4 団	2	100	29/11/9~11/15
9	アジア国際子ども映画祭参加訪日団	1	10	29/11/22~11/28

(ii)【派遣】 合計 8 団体 273 名(団長・引率を含む)

No.	団体名	団体数	人数	期間
1	日韓学術文化青少年交流事業訪韓団 1 団	1	20	29/8 /29~9/7
2	日韓学術文化青少年交流事業訪韓団 2 団	1	14	29/9/12~9/21
3	日本青少年訪韓団 1・2 団	2	99	29/10 /22~10/28
4	日本青少年訪韓団 3・4 団	2	100	29/11/5~11/11
5	日本大学生訪韓団 1 団	1	20	30/3 /6~3/15
6	日本大学生訪韓団 2 団	1	20	30/3/20~3/29

### (2)企画競争公募事業

「対日理解促進交流プログラム」の趣旨にそった事業を計画・立案、実施する団体を公募し、審査を経て実施団体を選定した。

(i)【招聘】 合計 3 件 70 名(団長・引率を含む)

No.	事業名 (実施団体名)	人数	期間
1	日韓クリエイター交流プロジェクトⅡ (秋田空港利用促進協議会)	23	29/10/27~11/3
2	韓国大学生招へい事業(テーマ:地域医療・看護) (一般財団法人 日本国際協力センター)	25	29/11 /6~11/14
3	静岡県・忠清南道考古学関係者友好交流推進事業 (静岡県・忠清南道考古学関係者友好交流実行委員会)	22	29/12/18~12/25

(ii)【派遣】 合計 1 件 26 名(団長・引率を含む)

No.	事業名 (実施団体名)	人数	期間
1	21世紀のユース日本通信使 日本大学生訪韓団 (NPO 法人 日中韓から世界へ)	26	29/9/10~9/19